

令和7年度第3回定例
松本市教育委員会会議録

松本市教育委員会

令和7年度第3回定例松本市教育委員会会議録

令和7年度第3回定例松本市教育委員会が令和7年6月27日午後3時00分教育委員室に招集された。

令和7年6月27日（金）

議 事 日 程

令和7年6月27日午後3時00分開議

第1 開 会

第2 教育長挨拶

第3 議 事

[議案]

第1号 長野県教育委員会及び松本市教育委員会相互の任免及び人事等に関する了解事項の取り交わしについて

第2号 松本市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について【非公開】

第3号 城東公民館長の任命について【非公開】

[報告]

第1号 令和7年松本市議会6月定例会の結果について

第2号 令和6年度いじめ・体罰等の実態調査について

第3号 令和6年度不登校児童生徒の状況について

第4号 「環境にやさしい給食の日」の実施について

第5号 中央図書館の開館時間延長について

第6号 いじめ重大事態に関する調査結果について【非公開】

[周知]

1 学都松本推進事業「夏休み給食センター親子見学会」の実施について

[その他]

〔出席委員〕

教 育 長

曾 根 原 好 彦

教育長職務代理者

宮 下 昌 史

教 育 委 員

佐 藤 佳 子

//

春 原 啓 子

//

福 澤 崇 浩

〔出席職員〕

教 育 次 長

赤 羽 志 穂

教 育 監

山 名 博 夫

教 育 政 策 課 長

小 西 え み

学 校 給 食 課 長

布 山 明 彦

生涯学習課長 兼

中央公民館長

廣 田 圭 男

中 央 図 書 館 長

藤 森 千 穂

学校教育課学校支援室

主 任 指 導 主 事

下 平 将 揮

西部学校給食センター担当係長

井 上 り か

波田学校給食センター担当係長

田 中 裕 子

生涯学習課社会教育推進担当係長

上 嶋 秀 俊

〔事務局〕

教育政策課

教育政策担当係長

伏 見 宏 美

教育政策担当係長

降 簀 基

《開会宣言》 午後３時００分

曾根原教育長は令和７年度第３回定例松本市教育委員会の開会を宣言した。

教育長 インスパニア・ハイの資料を置かせていただきましたが、中学生が探究の学びを深めるために、ＩＣＴを活用してグローバルにさまざまな考えを持つ方の意見に触れながら、探究の学びのきっかけとなるようなプログラムを、今年、全ての中学生に、経産省の補助事業として入れられることになりました。委員の皆様にも、機会があれば観ていただきたいと思います。

それでは最初に、令和７年度第２回定例教育委員会の会議録について、あらかじめご覧いただいたと思いますが、承認ということよろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

《署名委員の指名》

教育長 では、本日の会議録署名委員は佐藤委員、春原委員になります。よろしくお願いいたします。

本日の案件は、議案３件、報告６件、周知１件です。

なお、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第１４条第７項「教育委員会の会議は公開する。ただし人事に関する事件、その他の事件について、教育長または委員の発議により、出席者の３分の２以上の多数で議決したときはこれを公開しないことができる。」との規定に基づき、議案第２号及び第３号は人事案件のため、報告第６号は市内部における審議、検討に関する情報であり、公開することにより率直な意見交換が損なわれるおそれがあるため、非公開にすることとしたいのですが、よろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

教育長 では、議案第２号、議案第３号は及び報告第６号は非公開としますので、最後に協議することとします。

＜議案第１号＞ 長野県教育委員会及び松本市教育委員会相互の任免及び人事等に関する了解事項の取り交わしについて

教育政策課長 説明

教育長 ただいまの説明に対して、ご質問、ご意見はございますでしょうか。

では、議案第1号については承認いたします。

<報告第1号> 令和7年松本市議会6月定例会の結果について

教育政策課長 説明

教育長 ただいまの説明に対して、ご質問、ご意見はございますでしょうか。
よろしいでしょうか。では、報告第1号については承認いたします。

<報告第2号> 令和6年度いじめ・体罰等の実態調査について

教育監 説明

教育長 ただいまの説明に対して、ご質問、ご意見はございますか。

宮下委員 2ページ目の(3)の1人1台端末を使った「心の健康観察」について、今後アプリの導入を検討するということですが、アプリの管理運営がどこになるかは重要だと思うので、もし設計の具体があれば教えてください。

もしなければ、子どもがこのアプリを使って訴えたときに、タイムリーにキャッチできるシステムはなかなか難しいと思います。夜だったり朝だったり、子どもはいつでも入れますが、どのようにタイムリーに対応していくのか、ぜひ整理していただきたいと思います。

教育監 今、具体的には決められてはおりません。簡便でキャッチしやすい方法について、多方面を検討しているところです。

佐藤委員 アンケートなどの調査により発見される事案が多いということで、アンケートの実施形態や内容等についてお教えいただけたらと思います。

教育監 2か月に1回、クラスで記入方式で行っておりますが、匿名性を担保する、秘密をきちんと守れるように、学校によっては持ち帰って家で書いてくることを認めていたり、子どもたちが書きやすい雰囲気を大事にするように校長会や教頭会でもお願いしているところです。

佐藤委員 数年前に教育委員会でも話題に上ったと思いますが、書いている様子が隣同士で分かるような状況は書きづらい、あるいは詮索されるもとになってしまうので、例えばタブレットを活用するなどの方策がないかなと感じました。書きやすい状況、匿名性を保つことを継続していただきたいと思います。

教育長 ただいまの説明に対して、ご質問、ご意見はございますでしょうか。
では、議案第2号については承認いたします。

<報告第3号> 令和6年度不登校児童生徒の状況について

教育監 説明

教育長 ただいまの説明に対して、ご質問、ご意見はございますでしょうか。

春原委員 不登校児童生徒数が、以前と比べてますます増加傾向にあるということで、支援の方策として、いろいろな形で民間との協力体制ができてきていると思いますが、不登校の原因によって支援の方法も変わってくると思います。

協力体制はできても、一番肝心な、不登校の根本的な原因・実態をリアルにつかむことからスタートしなければいけないと感じています。

教育監 おっしゃるとおりだと思います。できるだけ、お子さんやご家族の困りごとやニーズを把握することが大事だと思っています。

本年度は主任指導主事が2名体制になりましたので、学校に相談できない場合の窓口・電話相談をなるべく丁寧に行うよう注力しているところです。

春原委員 先週ある中学校を不登校支援アドバイザーと訪問させていただきました。さまざまな支援の結果、今楽しく学校に通えている子どもも中にいました。小学生の時から今に至って不登校支援が続いている子どもも何人かおり気になりました。子どもにとっても保護者も苦しい状況が想像できます。何かいいきっかけをつかめることができればと、考えさせられます。

宮下委員 不登校児童生徒の課題が社会問題化してだいぶ長く経っており、学校訪問で実態を把握して支援策を講じてきたと思いますが、長期化もしているわけです。教育委員会の取組みを見るとやはり対応策が主で、不登校を生まない学校づくりや授業づくりに、これから教育委員会としてどれだけ支援できるかが大きいのではないかと思います。

松本市はインクルーシブセンターにおいて、子どもが自分らしくいられる学習環境づくりを行っていくという松本らしい新しい一步を踏み出したわけで、この辺が新しい取組みにつながることを期待しています。

また、不登校支援アドバイザーによる学校訪問が悪いと言っているわけではありませんが、小中の連携や他の施設とのつながりなどのアドバイスをいただ

けるのはありがたいですが、アドバイザーの役割もそろそろ考えていってもいいと感じていますので、ぜひ対応策からそちらへのシフトも含めて、ご検討いただきたいと思います。

福澤委員 オンライン教育支援センターですが、どこかで運営費が月3万円というのを見て、手弁当に近い状況でやっているのが現状かと思います。昨年度視察した長野市ではとてもしっかりと構築されていて、やはりオンラインを使った取組みも重要だと思いますが、松本市の予算の現状はいかがなものでしょうか。

教育監 3万円は「バーチャルまつもと」のことかと思います。おっしゃるとおり、オンライン教育支援センターの充実はとても大事だと思っています。なので、ほかの教育支援センターも含め、今後必要な予算の確保が進むように努めてまいりたいと思っています。

教育長 せっかくできたセンターですので、持続可能性のあるものにするために、どのような予算を付けるか、どのように人を配置して運営するかなどについて研究しています。利用する子どもも増えていきますので、また提案させていただきたいと思います。

佐藤委員 自分でも原因がわからない子どもたち、小さな違和感からということも多いように思いますし、その子たちが「今は家にいたい」という選択がなされてももちろん良いと思っています。一方で、義務教育というか社会に出るにあたって必要な知識・経験を身に着けることをどのように保証していくのかという中で、学習機会の確保としてのオンライン教育支援センターに、非常に期待しているところではあります。

一方で、やはり根本的に不登校を生まない学校づくりが大事だと思いますし、いろいろな子どもが受け入れられる環境を作っていただきたいなと思います。

私も子ども2人の不登校を経験する中で、十色さんを使わせていただいたときに、多様な大人が関わる場、要は答えは一つではなくて、社会に出るといろいろな生き方があるというのを、学校の外でも学ぶ場としての居場所の重要性もあると思っています。不登校の背景がさまざまなだけに難しさもあると思いますが、幅広い施策に今後も期待しています。

教育長 30日以上欠席の子が不登校という定義ですが、学校に行けても教室に入っていない子や、学校に行けないけれども教育支援センターに行っている子など

もいますので、さまざまな子の心理的安全性を担保できる場所を種類多く用意するという対症療法的な支援に加えて、学校が根本療法的にどんな学校づくりをしていくかを考えていかなければならないと思っています。

春原委員 先ほどスクリーニングシートについてお話いただきましたが、不登校傾向のある児童生徒の早期発見という意味合いがあるわけですね。

教育監 そうですね。スクリーニング会議はスクールソーシャルワーカーと指導主事と一緒に学校に行って、例えば遅刻や早退が多いなど、少し心配だなというお子さんについて、不登校につながる原因はないか、欠席日数だけでは捉えられない部分も意見交換しています。

教育長 ほかにございますでしょうか。よろしいでしょうか。
では、報告第3号については承認いたします。

<報告第4号> 「環境にやさしい給食の日」の実施について

学校給食課長 説明

教育長 ただいまの説明に対して、ご質問、ご意見はございますでしょうか。
よろしいでしょうか。
では、報告第4号については承認いたします。

<報告第5号> 中央図書館の開館時間延長について

中央図書館長 説明

教育長 ただいまの説明に対して、ご質問、ご意見はございますか。
よろしいですか。
では、報告第5号については承認いたします。

<周知事項 1> 学都松本推進事業「夏休み給食センター親子見学会」の実施について

学校給食課長 説明

福澤委員 昨年も非常に人気で、多くの親子が残念ながら参加できなかったと伺いましたが、もし可能であれば定員や回数を増やすなど、難しいとは思いますがご検討いただけるとありがたいと思います。

学校給食課長 おっしゃるとおり昨年は応募が多く、昨年度から東部給食センターは2部制

とし、西部給食センターは定員を20組から25組に増やしています。いろいろと考えながらやっていきたいと思います。

教育長 若干は増やしたということですね。

学校給食課長 子どもたちの思い出にもなりますので、今年度の応募状況も見ながら、増やせるかどうか検討してまいります。

教育長 ほかにございますか。

では、ありがとうございました。

その他、これまでの案件に関連して何かありますか。

それでは、非公開の案件に移りたいと思います。

<議案第2号> 松本市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について【非公開】

非公開案件につき内容省略

⇒ 承認

<議案第3号> 城東公民館長の任命について【非公開】

非公開案件につき内容省略

⇒ 承認

<報告第6号> いじめ重大事態に関する調査結果について【非公開】

非公開案件につき内容省略

⇒ 承認

《閉会宣言》

曾根原教育長は、令和7年度第3回松本市教育委員会を閉じる旨宣言した。

<午後4時42分閉会>

会議録調製職員

教育政策課教育政策担当係長

伏見 宏美

会 議 録 署 名 委 員

春原 啓子

佐藤 佳子
